

学 識 経 験 者 か ら の 意 見

守谷市教育委員会点検評価意見

点検評価委員 大 西 武 三

1 教育委員会

守谷市の教育をいかに進めるか、そのためには、どのような人づくりを行うのか、その全体像を明らかにし、具体的なプランを実施するとともに、点検評価して次年度に向けて課題を明らかにしていかなければならない。

守谷市教育委員会は、新しい時代をたくましく生きぬく人づくりを目指して、その具体像が目標として明確に示されそれに沿って様々な事業が積極的に展開されている。その結果を真摯に点検評価し、課題を策定して進める姿勢は、高く評価される。教育委員会は会議以外に、現場に出向いて実態の把握に努めているが、今後ともその姿勢を崩さず、現場に適応した施策の実施に努めていただきたい。

2 学校教育・指導室事業

時代とともに、生徒・児童を取り巻く環境は大きく変化している。それに対応すべく、事業が展開されなければならない。守谷市の学校教育においては、新指導要領や時代の要請に応えられるように全体的、個別的な対応が進められている。今後それに対応できる教員の資質の向上も今後ますます重要になってくる課題がある。

各学校の特色ある学校づくりを推進したり、守谷市独自の英語指導助手を配置するなど教育に関して積極的に事業を展開しているところは高く評価できる。学校教育ではまず、安全な教育環境を整えることが第一であるが、施設の面においても、小中学校の施設が耐震率100パーセントになることや今回の震災に関連して、グラウンドの放射能を先駆けて除去することなど、守谷市の教育に対する重要性を示す一例であり、評価できることである。課題は尽きないが、今後ともさらなる充実を望みたい。

3 給食センター事業

安全・安心な給食を提供することは、現在ほど求められている時はないであろう。学校を訪問して、児童・生徒に給食についての理解や食の重要性を知らせるなどは大変好ましい事業である。また保護者に対しても給食センター視察を通して、現状の理解を得るなど、学校、給食センター、家庭の連携を図りながら給食事業を進めていることは評価できる。また、現在アレルギーなど、個別に対応しなければならない事態に成分表の配布で対応している。今後ますます個別対応の増加が予測されるが、その課題に努力してほしい。今後とも健康の元である食に対する啓発と安全・安心な給食につとめていただきたい。

4 生涯学習事業

学校教育に対して全市民を対象にした社会教育の役割の重要性には大きいものがある。市民が生涯にわたって自己研鑽を積む環境を整備することは、市民の持つ可能性を広げ、

市の発展の原動力となるものである。その意味において、市民の欲求に応えるべく、また市民の資質の向上に資するべく様々な事業が展開されている。共働きの家庭も増えていることは、児童の健全な活動の場を確保することが必要であるが守谷市において、児童クラブと放課後子供教室を一体化して行うなど、県内でも先導的に行って県内外から高い評価を得ている。更なる対応と活用を今後とも望みたい。

5 図書館事業

市民の知的欲求に応える図書館の充実が重要である。蔵書のデータ化が進んでおり、各図書館のネットワークが整うなど市民からの評価は高いものがある。市民目線からの要望を把握するための会議や市民の知的欲求を高めるために様々な図書館行事が行われていることも、書物に親しむ習慣を形成するのに貢献している。市民一人あたり500円の予算を確保するなど図書館の充実に力を注いでいるが、今後とも市の知的財産の集積所として、多面的な資料の確保に努めてもらいたい。

< 総括 >

教育委員会の全体評価について

教育を取り囲む環境は、近年大きく変わろうとしている。その中であって守谷市教育委員会は「新しい時代をたくましく生きる人づくり」の実現を目指して、各担当組織で目標をかかげ、積極的に事業を展開している。市の基礎は人づくりに尽きるわけですが、その意気込み素晴らしく、様々な事業で効果を上げている。

一つ提案があるとすれば、少子・高齢化社会にあって、子供から大人まで生涯にわたってスポーツ、運動に親しむ社会を目指すことは、人間本来の欲求に応えるのみならず、市や市民に多くのメリットをもたらす効能がある。文部科学省も「スポーツ振興基本計画」を策定して、子供の体力向上、スポーツ環境の整備充実や国際競技力の向上を課題として施策を実施している。守谷市でも、各種事業を展開し効果を上げているが、さらなる発展を期するための長期、短期にわたる総合的な振興計画を定めて実施していただきたい。

特に、子供にスポーツ・運動に親しむ習慣を育む環境を作っていくために、教員や地域社会の指導者の育成・資質の向上をはかり、学校・地域・競技団体と連携し「生活にスポーツ・運動のあるまち、守谷」として「たくましく生きる人づくり」の一翼を担っていただければと思う。

今後とも、市民が自立し社会に貢献できる人づくりに努めていただきたい。